



©Steve Farmer

●子どもゆめ基金助成活動

美しい光と影を描き出す シドニー・スミスの絵本表現

— 『ぼくは川のようにはなを話す』を通して作者が語る—

講師：シドニー・スミス

(通訳：前沢明枝)

2023

9/18 [月・祝] 16:00-18:00 開場 15:30

[場 所] ①オンライン ②対面：出版クラブビル・3階会議室



東京都千代田区神田神保町 1-32
「神保町駅」A5 出口より徒歩 2 分

[定 員] ① 50 人 ② 50 人 (申込先着順・高校生以上参加可)

[参加費] ①②とも 1,500 円 (事前払込み) [協 力] 板橋区立美術館・偕成社



JBBY 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座 2023- ④

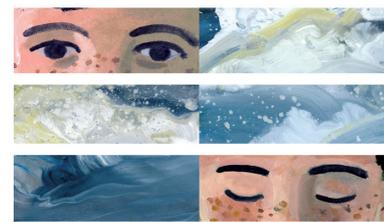
美しい光と影を描き出す シドニー・スミスの絵本表現

—『ぼくは川のように話す』を通して作者が語る—

2023.9.18 / 出版クラブビル



今、世界で注目されているカナダの絵本作家、シドニー・スミスさんをお招きして、その創作の秘密に迫ります。スミスさんの手がける絵本は、その芸術性を高く評価され、まだ40代前半の若さでケイト・グリーンナウェイ賞とカナダ総督文学賞をそれぞれ2度、ニューヨーク・タイムズ最優秀絵本賞を4度など数々の受賞に輝き、昨年は国際アンデルセン賞画家賞のファイナリストにも選ばれています。スミスさんの絵本に特徴的な光の描写について、また、テキストと絵の関係性、ページの構成といった絵本表現についての考えを、『ぼくは川のように話す』を具体例に語っていただきます。



講師：シドニー・スミス Sydney Smith



©Steve Farmer

1980年、カナダの東海岸にあるノヴァ・スコシア州に生まれる。ノヴァ・スコシア美術デザイン大学(NSCAD)でドローイングと版画を学ぶ。『うみべのまちで』(ジョアン・シュウォーツ文 BL出版)と、初めての自作絵本『このまちのどこかに』(評論社)により、2作連続でケイト・グリーンナウェイ賞を受賞。『ぼくは川のように話す』(ジョーダン・スコット文 偕成社)によりシュナイダー・ファミリーブック賞、ポストグローブ・ホーンブック賞を受賞。上記3作はいずれもニューヨーク・タイムズ最優秀絵本賞の受賞作でもある。日本でも『うみべのまちで』と『ぼくは川のように話す』が産経児童出版文化賞翻訳作品賞を受賞している。2022年国際アンデルセン賞画家賞ファイナリスト。その他の作品に『スムート』(ミシェル・クエヴァス文 BL出版)、『おはなをあげる』(ジョナル・ローソン文 ポプラ社)、最新作『おばあちゃんのにわ』(ジョーダン・スコット文 偕成社)があり、2023年10月にはアメリカで自作絵本の第2作『Do You Remember?』の刊行が予定されている。



左から
『うみべのまちで』
(ジョアン・シュウォーツ文 BL出版)
『このまちのどこかに』(評論社)
『おばあちゃんのにわ』
(ジョーダン・スコット文 偕成社)

■お願い■

この活動では、子どもゆめ基金への報告のために、参加者の写真を撮影させていただきます。子どもゆめ基金に提出した個人情報(写真)は、「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。なお、会場の遠景写真(参加者は後ろ姿のみ)を、主催者広報用にHPやSNS、刊行物等に掲載することがあります。

お申し込み

外部サイト「Peatix」からお申し込みください。
クレジットカード決済が振り込みが可能です。

<https://jbbyonline039.peatix.com>

